

碧南市教育委員会 10月定例会議事日程表

令和6年10月24日 (木)

午後2時～

碧南市役所4階 庁議室

1 開会の辞

2 教育長報告

3 前回会議録の承認について

4 議 案

(1) 協議事項

ア 令和6年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について (別添資料1)
(庶務課)

イ 令和7年度教職員定期人事異動方針について (当日資料)
(学校教育課)

(2) 報告事項

ア 9月議会一般質問内容及び回答について (資料1)
(関係各課)

(3) その他

ア 各課報告

イ 今後の予定

(ア) 運動会 令和6年10月26日 (土)
中央小学校、大浜小学校、鷺塚小学校、西端小学校

(イ) 学校訪問 令和6年10月28日 (月) 午前9時25分玄関前集合
中央中学校

(ウ) 学校訪問 令和6年10月31日 (木) 午前10時25分玄関前集合
南中学校 (給食あり)

(エ) 運動会 令和6年11月2日 (土)
新川小学校

(オ) 11月定例会 令和6年11月20日 (水) 午後2時から
碧南市役所4階 庁議室

5 閉会の辞

協議事項ア 令和6年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について（庶務課）

別添資料1のとおり

協議事項イ 令和7年度教職員定期人事異動方針について（学校教育課）

当日資料のとおり

報告事項ア 9月議会一般質問内容及び回答について（関係各課）

9月議会 質問内容及び回答

課名 庶務課

議員名	質問内容	回答
加藤厚雄議員	2. 熱中症対策の推進について (7) 学校体育館のエアコン設置の検討後について	<p>現在検討を進めており、近隣自治体の屋内運動場への空調設置状況や今後の予定などを確認した。</p> <p>すでに設置が完了した自治体は刈谷市で、みよし市は中学校のみ全校で完了しているという状況。岡崎市、豊田市、安城市、知立市、幸田町は、設置を進めている又は今後設置を進める予定で、西尾市、高浜市は未定と聞いているが、各市とも不確定な部分も多いと聞いている。</p> <p>こうした中で、来年度に基礎調査を行い、どのような方式の空調を設置するのか、スケジュールをどうするかなど、市の方向性を検討していく。</p>
磯貝明彦議員	2. 子ども・子育て施策について (2) 学校給食無償化について ア 6月議会で小池市長は任期の4年間の内に無償化していくと答弁したが、いつ無償化に踏み	6月の定例会で答弁したとおり、給食費の無償化は市長の重点施策として掲げているので、この

	<p>出すのか。</p> <p><2回目質問></p> <p>検討に時間がかかり過ぎており、決定が遅いのではないか。</p>	<p>任期4年の中に実施できるよう進めていく。</p> <p>今のところは、財源を含め、実施方法などの検討を進めており、実施時期が決定したわけではないので、決まり次第、報告する。</p> <p>給食費の無償化には、多くの財源を市で賄わなくてはならないので、財源の確保も含めて、実施時期の検討に時間がかかっている。</p>
--	--	--

課名 学校教育課

議員名	質問内容	回答
長崎章浩議員	<p>1. 碧南市内の小中学校での情報モラル教育について</p> <p>(1) 碧南市内の情報モラル教育の実施状況について</p>	<p>小中学校とともに、令和2年度碧南市『研究紀要』第70集で示された「情報モラル指導学年別対応表」にもとづき、各校の実態に合わせて道徳や特別活動、総合的な学習の時間などの授業に位置付けて情報モラル教育を実施している。対応表では、情報モラル教育の分野を大きく5つに分類しており、児童生徒の発達段階に応じて</p>

	<p>複数回学べるように、48の教材を準備している。</p> <p>(2) ネットを使った問題行動（碧南市内）件数、事例の内容について</p> <p>児童生徒のネットを使った問題行動のほとんどは家庭で起きているため、申し出がある場合を除いては把握していない。また、本市においても、ライングループから仲間外れにされたり、SNS上の書きこみや、画像で誹謗中傷されたりといった問題行動は少なからず起きている。</p> <p><2回目質問></p> <p>問題行動への対処方法と対策、マッチングアプリに対する積極的な把握手段について</p> <p>家庭と協力して対処していく。児童生徒の心のケアだけでなく、今後の生活の在り方、周囲の友だちとの関わり方に留意して、支えるような指導を心がけている。</p> <p>夏休みや冬休みといった長期休業の前など機会をとらえて、トラブルにつながる情報を伝え、どういう事態が起こるかを想像させながら、注意喚起している。</p> <p>マッチングアプリなどのトラブルを把握する手段としては、生活アンケートや個人面談などで情報収集をしている。困っている友だちについての情報提供をもとに、</p>
--	--

	<p>大きな被害を未然に防げた事案もある。</p> <p>(3) 保護者への取組について</p> <p>小中学校における生徒指導上の大きな課題である「いじめ」「不登校」に関して、その原因がSNSを正しく活用できていないことがあることが社会問題として深刻化している。しかし、学校における情報モラル教育だけでは、解決しきれないのが現状である。</p> <p>そこで、スマートフォンの正しい使い方を学ぶことを目的として、学校やPTA主催で保護者対象のスマホ教室を実施したり、PTA総会や保護者会、懇談会などの機会を通して情報提供をしたりすることで、家庭での協力を仰ぐようしている。</p> <p><2回目質問></p> <p>スマホ教室の対象や講師などの概要について</p> <p>保護者対象のスマホ教室は、携帯端末を扱う会社や警察の方、生徒指導主事が行うなど、学校によって様々です。子どもと一緒に参加するものから、PTA総会の折に、保護者のみを対象にしたものなど、形態も多様。このため、「保護者対象」となると市内全校で確</p>
--	--

		<p>実際に実施しているわけではない。情報モラル教育は、学校と家庭との協力が不可欠なので、保護者に対する啓発活動も拡大していきたいと考えている。</p>
加藤厚雄議員	<p>2. 熱中症対策の推進について</p> <p>(5) 学校における、子どもたちの通学時の熱中症予防対策の取組は</p> <p>(6) 熱中症警戒情報が発表された場合の教室、体育館、グランドの取組は</p>	<p>通学時の熱中症予防対策としては、日傘や冷感ネックリングを推奨している。中学校では、ポロシャツや体操服をズボンの中に入れないようにするシャツ出しを推奨し、少しでも風通しがよくなるように努めている。</p> <p>小学校低学年が下校する14時前後の時間は、気温と暑さ指数と言われるW B G Tの値はともに最も高く、熱中症の危険が伴う。今後、下校時に、熱中症のリスクが高い場合については、下校時間を遅らせるなど、対策していくことも必要になるかと考えている。しかし、学校における情報モラル教育だけでは、解決しきれないのが現状である。</p> <p>熱中症警戒情報が発表された場合には、まず児童生徒の健康状態を確認し、熱中症予防に向けたガ</p>

	<p>イドラインに基づき、W B G Tが31℃以上の場合は、屋内外での運動については原則中止、屋内の集会等は、放送に切り替えるなど対応をしている。</p> <p>児童生徒は、常に水筒を持参しており、授業中いつでも水分補給ができるような環境にしている。</p> <p>学校では、運動場や体育館内にW B G T計を設置し、活動前の計測に加え、活動中も常にW B G Tの値を注視して対策をしている。</p> <p>運動場では、涼しい場所で一定時間休憩をとることに努め、体育館では、窓を開放し風通しをよくするとともに、スポットクーラーや大型扇風機を設置し、体育の授業や部活動を行っている。</p> <p>学校教育課においては、常に情報収集に努め、危険が予想される場合は、注意を促すなど、絶えず啓発と注意喚起を行っている。</p> <p>熱中症が大きく取り上げられるようになった令和3年度以降、熱中症を未然に防ぐことができており、児童生徒の熱中症と思われる救急搬送をはじめとした重大案件は起きていない。</p>
--	---

生田悠議員	<p>1. 教職員働き方改革について</p> <p>(1) 教職員の採用状況について</p> <p>(2) 本市の状況について</p> <p>ア 教職員の不足の状況について</p>	<p>小学校の教員については、令和6年度採用の倍率が2.4倍、令和7年度採用の倍率が2.6倍。倍率の増加は、採用者数が前年と比べ、90名減少したからだと考える。中学校の教員については、令和6年度採用の倍率が4.3倍、令和7年度採用の倍率が3.4倍。倍率の減少は、採用者数が前年と比べ、60名増加したからだと考える。愛知県では今年度から大学3年生の前倒し特別選考が始まったり、定年延長が始まったりし、定数の確保に努めており、単純に比べることはできないが、それでもなお志願者数は4%程度減少している。</p> <p>教職員の補充については、100パーセントというのは難しい現状。教員不足の理由については、総合的に判断する必要があると思うが、35入学級実施や、特別な支援を必要とする児童生徒の増加による学級数の増加、育児・介護・療養等の休暇休業者の補充など、教職員の必要数の増加により欠員</p>
-------	--	---

	<p>が生じている。</p> <p>イ 教職員の時間外在校等について</p> <p>(ア) 本市における時間外在校等の状況について</p> <p>(イ) 本市の時間外在校等削減に向けた取組について</p> <p>ウ 精神疾患による休職者について</p> <p>(ア) 本市における精神疾患による休職者の状況について</p>
--	---

	(イ) 本市における精神疾患による休職者を生まない取り組みについて	る。 校長経験者を教育研修指導員として2名、教育支援員として1名配置している。経験年数の少ない教員や悩みを抱えている教員を対象に市内全校を巡回し、個々に合わせて指導したり、相談にのったりすることで、教員の資質向上や精神の安定に努めている。
--	-----------------------------------	--

課名 文化財課

議員名	質問内容	回答
高木洋和議員	2. 碧南市の文化財について (1) 市内の文化財の現状について ア 文化財の種類について イ 文化財維持費用（修繕費）について	文化財の種類には、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物があり、現在、国指定文化財が4件、県指定文化財が6件、市指定文化財が52件、国登録文化財が2件、合計64件となっている。 指定文化財の管理、修理または保存に係る事業を対象に補助金を交付しており、令和5年度は5件に対し160万2千円余であった。

	<p>(2) 文化財の有効活用について</p> <p>ア 教育（美術、歴史）としての活用について</p> <p>イ 市役所、美術館などでの特別展示や他市との連携について</p> <p>(3) 今後の碧南市文化財の取組について</p> <p>ア 新たな試みや懸念などについて</p>	<p>「鶴ヶ崎区のはやし」は、保存会の方が小学校の郷土芸能クラブへ指導を行い、「チャラボコ」は「元気ッス！へきなん」の時に演奏して活動をPRしている。</p> <p>市史資料調査員が小中学校の出前授業など校外学習のサポートを行っており美術館で展示説明なども今後検討していきたい。</p> <p>平成28年に大浜と鶴ヶ崎の山車を市役所のロビーに1か月間展示し、平成30年にはへきなんの文化財展を美術館で開催した。</p> <p>他市との連携については、市の文化財が昨年豊川市の特別展に出品された。</p> <p>今後も文化財の魅力が広く伝わるよう、特別展示や他市との情報交換・連携協力に努める。</p> <p>8月に林泉寺所有の掛軸が国の重要文化財に指定されたため、美術館で特別公開展示、記念講演会を行う。</p>
--	--	--

		過疎化や少子高齢化を背景に文化財継承の担い手不足が指摘されており、今後も文化財の価値を広く伝えるための取組みを進める。
--	--	---